

### 視点3 子どもの読書活動を積極的に推進する図書館

※( )内は、前年度(令和3年度)の評価

方向性	具体的取組	事業概要	取組状況
(1)子どもの読書活動の推進	①子ども図書館の整備  <b>完了事業</b>	北九州市子ども読書活動推進条例で定められた、子どもの読書活動の推進拠点となる「子ども図書館」を整備し、子ども図書館にふさわしい図書・資料を充実	●子どもの読書活動の推進拠点となる子ども図書館の整備は、平成30年12月22日完了。
	②子ども図書館における子育て・家庭教育支援などの図書・資料の充実  図書館評価 <b>B (B)</b>	子ども向けの絵本や図書・資料のみでなく、大人も利用できる、子育てや家庭教育支援用の図書・資料の充実	【取組状況】 ●子ども図書館の2Fに児童図書研究室を設け、引き続き家庭教育支援用の図書を収集した。 ※令和4年度末蔵書数5,725冊(令和3年度末:5,561冊)  【評価の理由】 ●家庭教育支援用の図書・資料の充実を図ることができたため、「B」評価と判断した。
	③「はじめての絵本」事業の実施  図書館評価 <b>A (A)</b>	出生前の早い時期から子どもの読書に関心をもってもらうため、母子健康手帳の交付時に絵本を配布する「はじめての絵本」事業を実施	【取組状況】 ●母子健康手帳の交付時に絵本パックの配布を行った。 ※配布率99.5%(令和3年度99.5%)  【評価の理由】 昨年度同様、99%以上の方に配布することができたため、「A」評価と判断した。
	④絵本の読み聞かせ、おはなし会などの実施  図書館評価 <b>B (B)</b>	子どもが小さいときから読書に親しめる環境づくりを行うため、絵本の読み聞かせやおはなし会などを実施	【取組状況】 ●子ども図書館や地区図書館・分館で、感染対策を行いながら、絵本の読み聞かせやおはなし会を実施した。前年度と比較すると、回数、参加者数ともに大幅に増加した。  【評価の理由】 ●コロナ禍であったが、回数、参加者数ともに回復傾向にあり、読書に親しむ環境づくりを行うことができたため、「B」評価と判断した。  【読み聞かせ・おはなし会実施状況】

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
回数	765回	69回	317回	637回
参加者数	13,586人	1,298人	3,574人	7,124人

### 視点3 子どもの読書活動を積極的に推進する図書館

※( )内は、前年度(令和3年度)の評価

方向性	具体的取組	事業概要	取組状況
(1)子どもの読書活動の推進	⑤図書館における子ども向け相談窓口の充実  図書館評価 <b>B</b> (B)	子どもたちが調べごとのために図書館へ来た時、気軽に相談できるように、子ども専用のレファレンス窓口を設け、調べ学習などが行いやすい環境を提供	【取組状況】 ●子ども図書館の受付カウンター2ヶ所にレファレンス窓口を設けるなど、各図書館で子どもの相談に応じる窓口を設けている。 ●その他、若松図書館、八幡西図書館及び戸畑図書館に子ども専用レファレンス窓口を設けている。  【評価の理由】 ●調べ学習などで気軽に相談できる環境を引き続き提供できたため、「B」評価と判断した。
	⑥調べ学習用図書・資料及び「調べ方マニュアル」の充実  図書館評価 <b>B</b> (B)	小・中学校と連携して、それぞれの児童・生徒に応じた調べ学習用の図書・資料や調べ方マニュアルを充実	【取組状況】 ●各館において調べ学習用図書を積極的に購入している。 ●図書館ホームページ及び子ども図書館ホームページに、調べ方マニュアルを掲載している。(小学生・中学生向け) ●各図書館で、図書館の利用方法や本の探し方についてのリーフレットやパスファインダーを作成したり、既存の資料で内容を更新したものを、来館した児童生徒に配布した。 ●子ども図書館ホームページに「テーマ別資料リスト」を掲載したほか、新たに子どもが調べものをする際の手引きとなる「調べもののおてつだい」「レファレンス」を掲載している。また、児童向け百科辞典「ポプラディア」の更新や、その他辞典、図鑑、SDGs関連資料を購入した。  【評価の理由】 ●調べ学習を支援することができたため、「B」評価と判断した。
	⑦ヤングアダルト向け図書・資料の充実  図書館評価 <b>B</b> (B)	読書から遠ざかりがちな中・高校生のために、ヤングアダルト向け図書・資料を充実	【取組状況】 ●各館において、ヤングアダルト世代に人気のある小説、ライトノベル、進路、思春期の悩み、生き方、考え方に関する本等を購入して充実を図るとともに、ヤングアダルトコーナーを設置した。 ●中央図書館及び移転新設した折尾分館には、令和4年度は、別途予算を配分し、ヤングアダルト向け図書を集中的に購入した。 ●子ども図書館では、ホームページに「中高生(ティーンズ)向けのページ」を掲載するとともに、1F閲覧室にティーンズコーナーを設置し、ライトノベルや自己啓発、キャリア形成に役に立つ図書を充実させた。  【評価の理由】 ●ティーンズ層を取り込む環境づくりを行うことができたため、「B」評価と判断した。
	⑧家読(うちどく)の推進  図書館評価 <b>B</b> (B)	家庭教育向上の基礎となる親子のコミュニケーションづくりの手段の一つとして家読を推進するため、推薦図書の情報提供や家読コーナーを設置	【取組状況】 ●地区図書館、分館において、家読コーナーを設置し、コーナーには、「家読ブックガイド」「おすすめ本リスト」を備え付け、家読に適したおすすめ図書の紹介や展示に取り組んだ。 ●子ども図書館では、保育所・幼稚園、学校に配布した「夏の読書カード」に、「家読にチャレンジ」というページを設け家読の周知に努めた。また、館内の特設コーナーに、読書カード及び発達段階に応じた「おすすめ本」を展示した。  【評価の理由】 ●家読の推進を図ることができたため、「B」評価と判断した。

### 視点3 子どもの読書活動を積極的に推進する図書館

※( )内は、前年度(令和3年度)の評価

方向性	具体的取組	事業概要	取組状況																					
(1)子どもの読書活動の推進	⑨地域人材の育成 図書館評価 B (B)	地域で読み聞かせを積極的に行うため、地域で活動している団体などと協働して、中央図書館や地区図書館で研修を実施	【取組状況】 ●小倉南図書館では、読み聞かせ団体と共同イベントを開催した。 ●若松図書館では、若松区役所と読み聞かせボランティア育成事業を共催し、活動場所の提供を行った。 ●戸畑図書館では、高校生による読書会「戸畑ブッククラブ」を設立し、読書会の手法・効用などについて学ぶ機会を提供している。 ●子ども図書館では、地域で読み聞かせを行う人材を育成するため、「読み聞かせ・読書ボランティア養成講座」(初級コース・中級コース・ストーリーテリング・ブックトーク)を実施した。  【評価の理由】 ●令和3年度はコロナで一部中止せざるを得ない講座もあったが、令和4年度は参加人数を制限しながらも全課程を実施することができた。これらにより、地域人材の育成を図ることができたため、「B」評価と判断した。  【講座実施状況(子ども図書館)】 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>読み聞かせボラ養成初級</td> <td>2回・53人</td> <td rowspan="4" style="text-align: center;">中止</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">中止</td> <td>3回・23人</td> </tr> <tr> <td>読み聞かせボラ養成中級</td> <td>1回・17人</td> <td>3回・27人</td> </tr> <tr> <td>ストーリーテリング</td> <td>1回・13人</td> <td>1回・8人</td> <td>3回・11人</td> </tr> <tr> <td>ブックトーク</td> <td>1回・6人</td> <td>1回・1人</td> <td>2回・12人</td> </tr> </tbody> </table>		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	読み聞かせボラ養成初級	2回・53人	中止	中止	3回・23人	読み聞かせボラ養成中級	1回・17人	3回・27人	ストーリーテリング	1回・13人	1回・8人	3回・11人	ブックトーク	1回・6人	1回・1人	2回・12人
		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度																			
	読み聞かせボラ養成初級	2回・53人	中止	中止	3回・23人																			
読み聞かせボラ養成中級	1回・17人	3回・27人																						
ストーリーテリング	1回・13人	1回・8人		3回・11人																				
ブックトーク	1回・6人	1回・1人		2回・12人																				
⑩図書館職員の育成 図書館評価 B (B)	地区図書館で、読み聞かせボランティアなどを養成する講座が実施できるような、図書館職員のスキルアップ	【取組状況】 ●福岡県立図書館主催の研修などに職員が参加した。  【評価の理由】 ●研修参加により、読み聞かせ技能などのスキルアップを図ることができたため、「B」評価と判断した。																						
⑪地区図書館における区役所や市民センターなどとの連携 図書館評価 B (B)	図書館職員や読み聞かせボランティアを市民センターや地域の子育てイベントなどに派遣し、子ども読書活動の推進につながる読み聞かせなどを積極的に実施	【取組状況】 ●戸畑図書館、新門司分館では、市民センターにリサイクル本コーナーを設置し、児童書を含むリサイクル本を提供した。 ●各図書館には市民センターのイベント案内、市民センターには図書館だより、児童書を含む新刊案内を設置し、相互に集客について連携を行った。 ●地区図書館において、区役所との共催イベント、区役所の「親子ふれあいルーム」や市民センターの講座などに、図書館職員(司書)や読み聞かせボランティアを派遣した。  【評価の理由】 ●コロナ禍においても、着実に連携して事業を実施しており、「B」評価と判断した。																						

### 視点3 子どもの読書活動を積極的に推進する図書館

※( )内は、前年度(令和3年度)の評価

方向性	具体的取組	事業概要	取組状況															
(1)子どもの読書活動の推進	⑫北九州市子ども読書の日の新設  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                         図書館評価   <span style="font-size: 2em;">B</span>  <span style="font-size: 2em;">(B)</span> </div>	全市的に子どもの読書活動の機運を高めるため、秋の読書週間に合わせ、市独自の「子ども読書の日」を新設	<b>【取組状況】</b> ●子ども図書館では、ボルダリング体験会、謎解きイベント、中学生によるビブリオバトル、消防音楽隊コンサートなど、趣向を凝らしたイベントを実施した。 ●地区図書館、分館でも、「北九州市子ども読書の日」に、おはなし会、ブックリサイクル、絵本リストの配布、読書ノートの配布など、様々なイベントを実施した。 ●学校に対して周知するとともに、当該日前後の2週間に読書に関する指導や取組を促した。  <b>【評価の理由】</b> ●前年度に引き続き、図書館に行ったことがない子どもにも興味を持ってもらうという視点でイベントを実施することにより、来館のきっかけづくりや、中高生の活動発表する機会の提供など、大きな成果を生み出すことができたため、「B」評価と判断した。															
	地元ゆかりの作家作品の充実  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                         再掲                          視点1③                     </div>	市民と子どもたちのシビックプライドの醸成を図るため、各図書館や新設される子ども図書館での、地元ゆかりの作家や児童文学作家の蔵書の充実、企画展示の開催	(略)															
(2)学校における読書活動の支援	⑬学校向け団体貸出の拡充  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                         図書館評価   <span style="font-size: 2em;">B</span>  <span style="font-size: 2em;">(B)</span> </div>	小・中学校において、学習の一助とするために、図書・資料の学校への貸出を積極的に実施	<b>【取組状況】</b> ●学校図書館教育講習会などの場を活用し、「団体貸出等の学校向けサービス」について周知し、積極的な利用を呼びかけた。  <b>【評価の理由】</b> ●貸出団体数、貸出数は前年度より減ったものの、ほぼすべての地区館・分館で団体貸出が利用されており、学校における読書活動や調べ学習を支援することができたため、「B」評価と判断した。  <b>【団体貸出利用状況】</b> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貸出団体数</td> <td>1,605団体</td> <td>495団体</td> <td>692団体</td> <td>521団体</td> </tr> <tr> <td>貸出冊数</td> <td>9,771冊</td> <td>5,566冊</td> <td>6,655冊</td> <td>4,749冊</td> </tr> </tbody> </table>		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	貸出団体数	1,605団体	495団体	692団体	521団体	貸出冊数	9,771冊	5,566冊	6,655冊	4,749冊
	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度														
貸出団体数	1,605団体	495団体	692団体	521団体														
貸出冊数	9,771冊	5,566冊	6,655冊	4,749冊														

### 視点3 子どもの読書活動を積極的に推進する図書館

※( )内は、前年度(令和3年度)の評価

方向性	具体的取組	事業概要	取組状況															
(2) 学校における読書活動の支援	⑭ 学校貸出図書セットの拡充	学校における読書活動や調べ学習などを推進するため、学年別・テーマ別に選んだ図書・資料を学級文庫や教材として使用する「学校貸出図書セット」を、より学校のニーズにあうように内容を充実	<b>【取組状況】</b> ●「学校貸出図書セット」について、内容の更新・再編を行い、申し込み希望が多いセットを中心に11セットを増設した。  <b>【評価の理由】</b> ●貸出件数は前年度より減ったものの、図書セットの内容を充実し、学校における読書活動や調べ学習を支援することができたため、「B」と判断した。  <b>【運営改善措置】</b> 学校からの要望を受け、学校貸出図書のセット数を増やすとともに、セットの再編を行う。  <b>【学校貸出図書セット利用状況】</b> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貸出セット数</td> <td>79セット</td> <td>93セット</td> <td>96セット</td> <td>107セット</td> </tr> <tr> <td>貸出件数</td> <td>77件</td> <td>101件</td> <td>76件</td> <td>56件</td> </tr> </tbody> </table>		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	貸出セット数	79セット	93セット	96セット	107セット	貸出件数	77件	101件	76件	56件
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度												
	貸出セット数		79セット	93セット	96セット	107セット												
貸出件数	77件	101件	76件	56件														
図書館評価 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 24px;">B (B)</div>																		
⑮ 図書館司書や読み聞かせボランティアの学校などへの派遣	子どもに一番身近な学校で読書推進活動を行う教員、学校図書館職員などに対して、図書館職員が専門的な研修を支援	<b>【取組状況】</b> ●新型コロナウイルスの影響で、学校等が司書やボランティアの受入れを控えており、派遣件数は少ないが、前年度よりは増加している。 ●子ども図書館、地区図書館では、派遣依頼に基づき、図書館司書や読み聞かせボランティアを、学校、市民センター、放課後等デイサービスなどの子育て関連施設等に派遣し、読み聞かせやブックトークを行った。  <b>【評価の理由】</b> ●派遣を依頼してきた学校や子育て関連施設には、希望に沿ったボランティア等を選び派遣することができ、件数も前年度を上回ったため、「B」評価とした。  <b>【学校等への派遣件数】</b> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>司書派遣</td> <td>2館10件</td> <td>1館2件</td> <td>5館27件</td> <td>6館59件</td> </tr> <tr> <td>ボラ派遣</td> <td>3館82件</td> <td>3館7件</td> <td>3館10件</td> <td>5館56件</td> </tr> </tbody> </table>		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	司書派遣	2館10件	1館2件	5館27件	6館59件	ボラ派遣	3館82件	3館7件	3館10件	5館56件	
		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度													
司書派遣		2館10件	1館2件	5館27件	6館59件													
ボラ派遣	3館82件	3館7件	3館10件	5館56件														
図書館評価 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 24px;">B (B)</div>																		
⑯ 学校関係者(教員、学校図書館職員など)の人材育成支援	子どもに一番身近な学校で読書推進活動を行う教員、学校図書館職員などに対して、図書館職員が専門的な研修を支援	<b>【取組状況】</b> ●学校図書館教育講習会において、司書教員や学校図書館職員に対して、図書館が行っている学校向けサービスについて説明を行った。 ●市立図書館を学習に活用できる教職員を増やすために、学校向けサービスを分かりやすく紹介するリーフレットの作成を行った。 ●学校図書館を所管している関係課と連携し、ブックヘルパー向けの研修会を実施した。  <b>【評価の理由】</b> ●学校図書館職員やブックヘルパーの資質向上を図る支援をできたため、「B」評価と判断した。																
図書館評価 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-size: 24px;">B (B)</div>																		

### 視点3 子どもの読書活動を積極的に推進する図書館

※( )内は、前年度(令和3年度)の評価

方向性	具体的取組	事業概要	取組状況																													
(2) 学校における読書活動の支援	⑰子ども司書の養成と活用 図書館評価 <b>B</b> <b>(B)</b>	子どもたちの図書館への関心や読書への意欲を高めるため、 ・図書館で働く司書の仕事を学習する講座を開催し、子ども司書を育成 ・その子ども司書たちが学校で、読書活動推進のリーダー役となることを目指す	<b>【取組状況】</b> ●7月から8月にかけて、5日間で「子ども司書養成講座」を開催した。 <b>【評価の理由】</b> ●コロナ禍での開催ということで、募集人員を削減して行ったが、定員を上回る応募があり、参加者全員が修了(子ども司書認定証授与)することができたため、「B」評価と判断した。 <b>【子ども司書養成講座参加状況】</b> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>35人</td> <td>28人</td> <td>27人</td> <td>29人</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>16人</td> <td>5人</td> <td>9人</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>51人</td> <td>33人</td> <td>36人</td> <td>36人</td> </tr> </tbody> </table>		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	小学校	35人	28人	27人	29人	中学校	16人	5人	9人	7人	合計	51人	33人	36人	36人									
		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度																											
小学校	35人	28人	27人	29人																												
中学校	16人	5人	9人	7人																												
合計	51人	33人	36人	36人																												
⑱小・中・特別支援学校児童生徒が読書を通して得た喜びや感動を文章表現することで、ものの見方や考え方を深め、より豊かな感性を育むことを目的として、読書感想文募集を実施 図書館評価 <b>B</b> <b>(B)</b>	小・中・特別支援学校児童生徒が読書を通して得た喜びや感動を文章表現することで、ものの見方や考え方を深め、より豊かな感性を育むことを目的として、読書感想文募集を実施	<b>【取組状況】</b> ●7月～9月にかけて、市内の小・中・特別支援学校に対し、読書感想文の募集を行った。 ●秋の「北九州市子ども読書の日」の関連行事として本事業を位置づけ、表彰式を11月に実施した。 <b>【評価の理由】</b> ●コロナ前の水準まで戻っていないが、令和4年度も令和2年度と比べ応募点数が増加したため、「B」評価と判断した。 <b>【読書感想文表彰実績】</b> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>応募点数</td> <td>33,226点</td> <td>10,179点</td> <td>26,576点</td> <td>26,094点</td> </tr> <tr> <td>学校数</td> <td>199校</td> <td>142校</td> <td>186校</td> <td>177校</td> </tr> <tr> <td>優秀賞</td> <td>28点</td> <td>28点</td> <td>28点</td> <td>28点</td> </tr> <tr> <td>優良賞</td> <td>93点</td> <td>93点</td> <td>93点</td> <td>93点</td> </tr> <tr> <td>入選</td> <td>2,600点</td> <td>1,095点</td> <td>2,401点</td> <td>2,431点</td> </tr> </tbody> </table>		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	応募点数	33,226点	10,179点	26,576点	26,094点	学校数	199校	142校	186校	177校	優秀賞	28点	28点	28点	28点	優良賞	93点	93点	93点	93点	入選	2,600点	1,095点	2,401点	2,431点
	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度																												
応募点数	33,226点	10,179点	26,576点	26,094点																												
学校数	199校	142校	186校	177校																												
優秀賞	28点	28点	28点	28点																												
優良賞	93点	93点	93点	93点																												
入選	2,600点	1,095点	2,401点	2,431点																												

### 視点3 子どもの読書活動を積極的に推進する図書館

※( )内は、前年度(令和3年度)の評価

方向性	具体的取組	事業概要	取組状況															
(2) 学校における読書活動の支援	⑨小・中・特別支援学校等との連携 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             図書館 評価   <b>A</b> (<b>B</b>)           </div>	図書館と小・中・特別支援学校等との連携を図るため、図書館だよりの発行や児童・生徒の図書館見学・職場体験の実施	<p>【取組状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●地区図書館、分館において、毎月「図書館だより」を作成し、近隣の小・中・特別支援学校等に配布した。</li> <li>●新たな「子ども読書プラン」では「小学校在学中の図書館見学の実施」を掲げ、校長会等を通じ、学校へ図書館見学の実施について依頼。子ども図書館と地区図書館が協力し、児童・生徒の図書館見学や職場体験を受入れた。</li> <li>●子ども図書館において、展示スペースを学校図書館用に確保し、小中学校の図書委員などが作成した本の紹介などの作品を展示した。</li> </ul> <p>【評価の理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●コロナ前の水準とはいかない項目もあったが、実績が大幅に前年度を上回ったので、概ねコロナ前に戻すことができたと考え「A」評価と判断した。</li> </ul> <p>【児童・生徒の図書館見学及び職場体験実施状況】</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>見学</td> <td>13館84件 4,175人</td> <td>11館62件 2,246人</td> <td>13館118件 4,790人</td> <td>13館247件 8,124人</td> </tr> <tr> <td>職場体験</td> <td>9館44件 154人</td> <td>2館2件 2人</td> <td>2館4件 11人</td> <td>3館5件 13人</td> </tr> </tbody> </table>		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	見学	13館84件 4,175人	11館62件 2,246人	13館118件 4,790人	13館247件 8,124人	職場体験	9館44件 154人	2館2件 2人	2館4件 11人	3館5件 13人
	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度														
見学	13館84件 4,175人	11館62件 2,246人	13館118件 4,790人	13館247件 8,124人														
職場体験	9館44件 154人	2館2件 2人	2館4件 11人	3館5件 13人														
<p>【北九州市立図書館協議会による評価】</p> <p>協議会として、この評価で概ね問題ないとする。            子ども、特にヤングアダルトに読書への興味を持ってもらうために行った本の配架やヤングアダルト向け蔵書の充実などの取組の成果について今後検証されたい。</p>																		

## 視点4 誰もが使いやすく、人や情報が交流する図書館

※( )内は、前年度(令和3年度)の評価

方向性	具体的取組	事業概要	取組状況
(1) 情報化への対応	① Wi-Fiの整備	スマートフォンなど携帯端末の普及が進んでいるため、図書館のWi-Fi環境を整備	<b>【取組状況】</b> ●令和4年度は折尾分館の新築移転開館にあわせて、Wi-Fi環境の整備を行った。  <b>【評価の理由】</b> ●未整備の館に新たにWi-Fi環境を整備したことから、情報化への対応を計画的に進めているとして「B」評価とする。  <b>【運営改善措置】</b> ●今後も未整備の館については、図書館全体の予算執行状況を勘案しながら設置に努める。
	図書館評価		
	B (D)		
② 中央図書館、地区図書館、子ども図書館におけるホームページの充実	② 中央図書館、地区図書館、子ども図書館におけるホームページの充実	利用者が見やすく、使いやすいホームページとなるように、 ・子ども図書館の開館にあわせ、ホームページを開設 ・中央図書館や地区図書館のホームページの見直し	<b>【取組状況】</b> ●令和4年度は図書館ホームページの見直しは実施しておらず、令和5年度の見直しに向けて検討・準備を進めた。  <b>【評価の理由】</b> ●令和4年度はホームページの見直しを行っていないが、令和5年度のホームページの見直しに向けて検討・準備を行ったため、「C」評価とする。  <b>【運営改善措置】</b> ●令和5年度に予定されている図書館システムの更新に合わせて改善し、見やすい・利用しやすいホームページを作成する。
	図書館評価		
	C (D)		
③ 郷土資料のデジタル化への検討	③ 郷土資料のデジタル化への検討	資料のデジタル化に関する情報収集や研修などを行い、郷土資料のデジタル化を検討	<b>【取組状況】</b> ●中央図書館では、過年度に、所蔵する郷土資料の一部(門司新報、福岡県布達集、小笠原文庫、古地図、写真など)をデジタル化や民間団体と協力したガラス乾板のデジタル化などを行い、利用者に提供している。 ●令和4年度は、中央図書館で、業務委託による若松石炭協会資料、門司図書館収蔵資料、旧国際友好記念図書館収蔵資料のデジタル化を行った。  <b>【評価の理由】</b> ●郷土資料のデジタル化を継続して実施したため、「B」評価と判断した。
	図書館評価		
	B (B)		

## 視点4 誰もが使いやすく、人や情報が交流する図書館

※( )内は、前年度(令和3年度)の評価

方向性	具体的取組	事業概要	取組状況									
(1) 情報化への対応	④子ども向け電子図書館の導入  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             図書館 評価   <b>B</b> (A)           </div>	コロナ禍の読書や学習機会の確保等を目的に、子ども向け電子図書館の導入(子ども向け電子書籍貸出サービスの開始)	<b>【取組状況】</b> ●利用促進のため、市立の小・中・特別支援学校の全児童生徒に学校を通じて、利用者IDを配付。また令和4年度には北九州市立高校の全生徒にも利用者IDを配布した。 ●民間資金を活用し、蔵書の充実を図った。  <b>【評価の理由】</b> ●電子書籍の貸出ができる環境は整ってきつつある。一方、貸出件数は減少している。開館当初の一時的な貸出増加を考慮しても、「B」評価と判断せざるを得ない。  <b>【子ども電子図書館の登録状況】</b> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用登録者数</td> <td>76,156人</td> <td>84,256人</td> </tr> <tr> <td>貸出件数</td> <td>16,672冊 ※開設初年度</td> <td>7,221冊</td> </tr> </tbody> </table>		R3年度	R4年度	利用登録者数	76,156人	84,256人	貸出件数	16,672冊 ※開設初年度	7,221冊
	R3年度	R4年度										
利用登録者数	76,156人	84,256人										
貸出件数	16,672冊 ※開設初年度	7,221冊										
(2) ニーズに応じたサービスの提供	⑤高齢者などあらゆる人が利用しやすいサービスの充実  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             図書館 評価   <b>B</b> (B)           </div>	バリアフリー化や大活字本の充実を図るなど、高齢者を含め、あらゆる人が利用しやすいサービスの充実	<b>【取組状況】</b> ●各館において、障害のある方に配慮した資料(LLブック、朗読CDなど)の収集を行った。 ●各館において、高齢者や弱視者も読みやすい資料である「大活字本」収集の充実を図った。 ●中央図書館において、障害者就労支援施設の協力による障害者サービス研修を実施した。 ●中央図書館では、身体障害者等により来館が困難な方を対象とした「郵送貸出」サービスを継続して実施した。また、令和3年度より読書バリアフリー法に対応し、新たにデジタイズ図書・デジタイズ再生機等の貸出を行う「録音図書等貸出」サービスを開始し、令和4年度においても引き続き対象者への貸出を行った。 ※令和4年度「郵送貸出」登録者数:94名 ※令和4年度「録音図書等貸出」登録者数:4名 ●中央図書館、小倉南図書館、八幡図書館では、館内に拡大読書機を設置し、各館において拡大鏡やリーディングトラッカーの館内貸出、コミュニケーションボードの設置等を行っている。  ●各館において、外国語資料の収集、提供を行った。 ●中央図書館では、やさしい日本語や外国語で書かれた利用案内リーフレットの配布や、やさしい日本語で書かれた図書資料の収集など、多文化サービスの取組みを継続して行った。また、コロナ禍で実施できなかった在住外国人等を対象とした「図書館ガイドツアー」を図書館まつりに合わせて実施した。  ●子ども図書館では寝ころびスペースやベンチなど多様な閲覧スペースを提供した(コロナ禍で一部使用中止)。  <b>【評価の理由】</b> ●高齢者などあらゆる人が利用しやすい図書館サービスの充実に継続的に努めたため、「B」評価と判断した。									

## 視点4 誰もが使いやすく、人や情報が交流する図書館

※( )内は、前年度(令和3年度)の評価

方向性	具体的取組	事業概要	取組状況															
(2)ニーズに応じたサービスの提供	⑥子ども用トイレや授乳室の設置  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">図書館 評価</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; width: 60px; margin: 5px auto;">A (-)</div>	子どもと一緒に利用しやすい図書館づくりを目指すため、図書館整備にあわせ、子ども用トイレや授乳室を整備	<b>【取組状況】</b> ●令和4年度は、折尾分館の移転開館に伴い、授乳及びおむつ替えができる赤ちゃんの駅を新たに設置した。  <b>【評価の理由】</b> ●未整備の館に新たに整備を行ったことから、「A」評価とする。															
	⑦図書館以外での本の返却  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">図書館 評価</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; width: 60px; margin: 5px auto;">B (B)</div>	利用者の利便性の向上を図るため、駅など図書館以外で本を返却できるように、返却ボックスを設置	<b>【取組状況】</b> ●小倉駅構内及び黒崎駅に隣接するコムシティ入口の2か所に返却ボックスを設置(平成29年7月)し、年末年始を除く毎日、利用に供している。 ●令和4年度は、前年度に比べ、全体として利用数が増加した。  <b>【評価の理由】</b> ●コロナの影響により、貸出冊数そのものが減少している中で、返却ボックスは一定の利用があり、非来館型サービスのひとつとして利用者の利便性向上に寄与していることから、「B」であると判断した。  <b>【返却ボックス利用状況】</b> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小倉</td> <td>27,593冊</td> <td>18,776冊</td> <td>27,165冊</td> <td>26,939冊</td> </tr> <tr> <td>黒崎</td> <td>10,819冊</td> <td>7,034冊</td> <td>9,603冊</td> <td>10,158冊</td> </tr> </tbody> </table>		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	小倉	27,593冊	18,776冊	27,165冊	26,939冊	黒崎	10,819冊	7,034冊	9,603冊	10,158冊
	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度														
小倉	27,593冊	18,776冊	27,165冊	26,939冊														
黒崎	10,819冊	7,034冊	9,603冊	10,158冊														
	⑧CD、DVD資料の貸出とその充実  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">図書館 評価</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; width: 60px; margin: 5px auto;">B (B)</div>	図書館整備にあわせて、市民から要望のあるCDやDVDなど視聴覚資料の貸出コーナーを設置	<b>【取組状況】</b> ●これまで各地区館の新設・改修などに併せて、視聴覚資料(CD・DVD)の継続購入に加え貸出を行える館の拡充に取り組み、令和4年度末現在、中央図書館、子ども図書館、地区館4館(小倉南、八幡、八幡西、戸畑)で館外貸出や館内閲覧の利用に供している。 ●特に子ども図書館では、家族や友だちと一緒に視聴できるスペースの確保も行っている。(コロナ禍で一部使用中止)  <b>【評価の理由】</b> ●視聴覚資料の活用及び資料の充実について着実に取り組むことができたため、「B」評価と判断した。  <b>【CD・DVD貸出所蔵点数(全館計)】</b> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貸出点数</td> <td>111,181点</td> <td>70,288点</td> <td>81,887点</td> <td>79,008点</td> </tr> <tr> <td>所蔵点数</td> <td>17,251点</td> <td>17,941点</td> <td>18,456点</td> <td>18,803点</td> </tr> </tbody> </table>		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	貸出点数	111,181点	70,288点	81,887点	79,008点	所蔵点数	17,251点	17,941点	18,456点	18,803点
	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度														
貸出点数	111,181点	70,288点	81,887点	79,008点														
所蔵点数	17,251点	17,941点	18,456点	18,803点														

## 視点4 誰もが使いやすく、人や情報が交流する図書館

※( )内は、前年度(令和3年度)の評価

方向性	具体的取組	事業概要	取組状況
(2) ニーズに応じたサービスの提供	⑨学習活動の場、設備、図書・資料などの提供  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             図書館 評価   <b>B</b> (B)           </div>	読書会や郷土史会など、市民の学習活動を推進するため、図書館の施設、設備、図書、資料などを提供	<b>【取組状況】</b> ●各館における読書会等への活動支援については、コロナ禍により図書館内での会場の提供ができず中止とした館もあるが、例年に比べ実施回数を減らしたり資料提供のみ行ったりするなど、できる限り継続して取り組んだ。 ●小倉南図書館、若松図書館等で小中学校児童生徒の作品展示、調べ学習に役立つコーナー設置、資料リスト作成などを行った。 ●子ども図書館では、見学等で来館した学校の児童・生徒に対して、図書館利用の学習を行った。調べ学習に使う図書資料に関する相談を受け、資料の紹介や提供を行った。  <b>【評価の理由】</b> ●コロナ禍により事業規模は縮小せざるを得ない状況であったが、継続して市民の学習活動に対する支援に努めたことから、「B」評価と判断した。
(3) 親しみやすい図書館づくり	⑩くつろいで読書のできる環境の充実  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             図書館 評価   <b>B</b> (B)           </div>	・カフェテリアを設けるなど、くつろいで読書ができるように図書館の読書環境を整備 ・カフェテリアが街のにぎわいづくりに寄与するように、イベントなどの企画を検討	<b>【取組状況】</b> ●中央図書館のカフェについては、令和4年度はコロナ禍による休館がなかったことから、営業時間が増え、くつろいで読書できる環境を提供できた。 ●令和4年度は、文学館とカフェの仲介役となり、文学館企画展とのコラボメニューの開発に寄与した。  <b>【評価の理由】</b> ●令和4年度は、中央図書館のカフェにおいて、コロナ禍による休館がなかったことや、文学館企画展とのコラボメニュー販売イベント実施など、くつろぎの場を求める来館者のニーズに応えたことから「B」評価と判断した。
	⑪市立図書館への来館のきっかけづくりの提供  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             図書館 評価   <b>A</b> (A)           </div>	これまで図書館に来ていない人が来館するきっかけとなるように、図書・資料の配架や開催する講座、イベントなどを見直し	<b>【取組状況】</b> ●八幡図書館では、近隣の公共施設や店舗と協働したイベント「やはたアートフォレスト」の開催により、図書館を含めた地域の回遊性を高める企画を実施した。 ●子ども図書館では、読書履歴を記録する「読書通帳」の運用を継続した。 ●子ども図書館では、「北九州市子ども読書の日」に、ボルダリング体験会、北九州市立大学の学生による謎解きイベントや読み聞かせ、中学生によるビブリオバトルなど、趣向を凝らしたイベントを実施した。地区図書館、分館でも、「北九州市子ども読書の日」に、おはなし会、ブックリサイクル、絵本リストの配布、読書ノートの配布など、様々なイベントを実施した。 ●その他各館において、近隣の自治会との協力により図書館だよりを回覧したり、小中学校・幼稚園・保育園、病院等各種施設に図書館だより、新刊案内、行事チラシ等を設置したりして広報に努めた。  <b>【評価の理由】</b> ●コロナ禍の中であったが、地区館でのイベントや「北九州市子ども読書の日」に際した様々なイベントの実施により、市民が図書館に足を運びかけを提供できたとして、「A」評価と判断した。

### 【北九州市立図書館協議会による評価】

協議会として、この評価で概ね妥当とする。

子ども電子図書館の運用についても、対象を拡大してIDを配布している点など評価できる。一方で、開館年度である令和3年度から貸出冊数が減少していることや大人も利用できるとしつつもそれがあまり知られていないことから、より利用される電子図書館となるよう、改善の余地がある。

## 視点5 市民参画型図書館

※( )内は、前年度(令和3年度)の評価

方向性	具体的取組	事業概要	取組状況																					
(1) ボランティアの育成と活用	①読み聞かせボランティア養成講座の充実 図書館評価 <b>B</b> <b>(B)</b>	読み聞かせボランティアの専門性を高めるため、ストーリーテリングやブックトークなどの技術を学ぶ講座を実施	<b>【取組状況】</b> ●子ども図書館では、「読み聞かせ・読書ボランティア養成講座」を実施した。昨年度はコロナのため中止となった初級及び中級講座を3回ずつ、ストーリーテリング講座を3回、ブックトーク講座を2回実施した。 <b>【評価の理由】</b> ●コロナで一部中止せざるを得なかった2講座を開催し、コロナ前の状態に戻すことができたので、「B」評価と判断した。 <b>【講座実施状況】</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>読み聞かせボラ養成初級</td> <td>2回・53人</td> <td rowspan="4">中止</td> <td rowspan="2">中止</td> <td>3回・23人</td> </tr> <tr> <td>読み聞かせボラ養成中級</td> <td>1回・17人</td> <td>3回・27人</td> </tr> <tr> <td>ストーリーテリング</td> <td>1回・13人</td> <td>1回・8人</td> <td>3回・11人</td> </tr> <tr> <td>ブックトーク</td> <td>1回・6人</td> <td>1回・1人</td> <td>2回・12人</td> </tr> </tbody> </table>		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	読み聞かせボラ養成初級	2回・53人	中止	中止	3回・23人	読み聞かせボラ養成中級	1回・17人	3回・27人	ストーリーテリング	1回・13人	1回・8人	3回・11人	ブックトーク	1回・6人	1回・1人	2回・12人
	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度																				
読み聞かせボラ養成初級	2回・53人	中止	中止	3回・23人																				
読み聞かせボラ養成中級	1回・17人			3回・27人																				
ストーリーテリング	1回・13人		1回・8人	3回・11人																				
ブックトーク	1回・6人		1回・1人	2回・12人																				
	②図書館ボランティアの育成 図書館評価 <b>B</b> <b>(B)</b>	市民が図書館運営の担い手となるように、図書館において館内案内や配架などの図書館業務を行う図書館ボランティアを育成	<b>【取組状況】</b> ●中央図書館では、図書館ボランティア養成講座を開催し、ほとんどの終了者は、希望の館においてボランティア活動に参加しているが、令和3年度以降は、コロナ禍により養成講座の受講人数を例年の半分程度に限定している。 ●ボランティア登録者数(令和5年度に向けた活動継続希望者)は前年度末よりも増加した。 <b>【評価の理由】</b> ●コロナ禍により、受講者数を絞って実施しているが、登録者数は増加しているため、「B」評価と判断した。 <b>【ボランティア養成状況】</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>養成講座修了者</td> <td>57人</td> <td>中止</td> <td>26人</td> <td>29人</td> </tr> <tr> <td>ボランティア登録者</td> <td>322人</td> <td>263人</td> <td>241人</td> <td>243人</td> </tr> </tbody> </table>		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	養成講座修了者	57人	中止	26人	29人	ボランティア登録者	322人	263人	241人	243人						
	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度																				
養成講座修了者	57人	中止	26人	29人																				
ボランティア登録者	322人	263人	241人	243人																				
	③ブックヘルパーの人材育成支援 図書館評価 <b>B</b> <b>(B)</b>	学校図書館で図書・資料の整理、補修や読み聞かせなどを行うブックヘルパーが活動しやすくなるように、図書館職員が研修を支援するなど、学校における読書活動に協力	<b>【取組状況】</b> ●子ども図書館において、ブックヘルパー研修(12月)を開催した。なお、新型コロナウイルスの影響により、各学校の活動状況がまだ把握できない状態であったため、学校における読み聞かせボランティア研修(2月)は中止した。 <b>【評価の理由】</b> ●参加者を制限しての開催となったが、学校図書館ボランティアの育成支援を行うことができたため、「B」評価と判断した。 <b>【ブックヘルパー研修実施状況】</b> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R元年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>応募者</td> <td>206人</td> <td rowspan="2">中止</td> <td>33人</td> <td>33人</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>136人</td> <td>33人</td> <td>33人</td> </tr> </tbody> </table>		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	応募者	206人	中止	33人	33人	参加者	136人	33人	33人							
	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度																				
応募者	206人	中止	33人	33人																				
参加者	136人		33人	33人																				

## 視点5 市民参画型図書館

※( )内は、前年度(令和3年度)の評価

方向性	具体的取組	事業概要	取組状況
(1) ボランティアの育成と活用	④読み聞かせボランティアバンクの充実  図書館評価 <b>B (B)</b>	読み聞かせなどを希望する子育て施設や学校に対し、ボランティア情報を迅速かつ的確に提供するため、 ・読み聞かせボランティアバンクの充実 ・地区図書館ごとのボランティアバンクの設立の検討	【取組状況】 ●「児童サービス担当者会議」等を通し、地区図書館や学校などで活動する読み聞かせボランティアの情報を、引き続き各地区図書館と共有した。  【評価の理由】 ●子どもの読書活動推進のためのネットワークを維持することができたため、「B」評価と判断した。
	地域人材の育成  再掲 視点3⑨	地域で読み聞かせを積極的に行うため、地域で活動している団体などと協働して、中央図書館や地区図書館で研修を実施	(略)
(2) 開かれた図書館づくり	⑤時代に即した図書館づくりを推進するための図書館協議会の充実  図書館評価 <b>B (C)</b>	多様化する図書館へのニーズに対応し、効率的で効果的なサービスが提供できるように、図書館協議会の充実に努め、時代に即した図書館づくりを推進	【取組状況】 ●令和4年度は、コロナ禍による影響も減少傾向となったことから、図書館協議会を対面で2回開催することができた。  【評価の理由】 ●対面での開催が増加したことにより、充実した議論を交わすことができた。また、協議会委員の改選にともない、中央館の見学会を実施したことにより、図書館の実情を委員に把握していただく機会を得ることができたことから、評価を「B」とした。
	⑥運営に関する評価の実施  図書館評価 <b>A (A)</b>	図書館運営に関する評価を行い、広く公表するとともに、運営の改善を実施	【取組状況】 ●PDCAマネジメントサイクルの結果をわかり易くするため、令和3年度の評価(令和4年度実施)より「取組状況」「評価の理由」に加え、新たに「運営改善措置」を追加し、具体的な改善措置を実施する(予定を含む)こととし、「北九州市立図書館の運営に関する評価」へ反映を行った。 ●令和3年度の評価後、協議会委員の意見なども参考に次年度の評価に向けて評価の様式改訂に取り組んだ。  【評価の理由】 ●図書館法の評価の本来の趣旨である「運営改善措置」を明記することにより、改善の有無や過程を広く利用者に示せるようになった(行政の透明化)。また、これにより図書館の運営改善につながることから、評価を「A」とした。
【北九州市立図書館協議会による評価】			
協議会として、この評価で概ね問題ないとする。 読み聞かせボランティア講座については、「第5次子ども読書活動推進に関する基本的な計画」(文科省)における子どもの読書への関心を高める取組を参考に、現行のもの以外の手法に関する研修の実施についても提案する。 また、図書館運営に関する評価における評価項目及び基準は、現行のもので妥当かどうかを次年度以降、見直す必要があるのではないか。			

# 図書館評価の様式変更について

○変更点 (R5.3.7 館内会議承認済)

令和4年度評価より、以下の通り様式を変更する。

- ① フォントをUDへ変更
- ② 表中の視点を頭出して頭だし(すべてのページで表示)
- ③ 図書館評価欄を「具体的取組欄」へ移動
- ④ 2, 3により記載欄の幅に余裕が出来たので、取組状況欄を拡張

【新様式】

②

## 視点1 多様な施設とつながる図書館

※( )内は、前年度(令和2年度)の評価

方向性	具体的取組	事業概要	取組状況
(1) 文学館などの文化施設との連携	①文化施設の情報の発信 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">                         図書館評価 B (B)                     </div>	文学館、美術館、松本清張記念館などの文化施設への来館のきっかけづくりのため、文化施設の企画展情報を発信	【取組状況】 ● ----- <div style="text-align: center; font-size: 2em;">← ④ →</div> 【評価の理由】 ● -----

①

③

【旧様式】

視点	方向性	具体的取組	事業概要	取組状況	図書館評価
1 多様な施設とつながる図書館	(1) 文学館などの文化施設との連携	①文化施設の情報の発信	文学館、美術館、松本清張記念館などの文化施設への来館のきっかけづくりのため、文化施設の企画展情報を発信	【取組状況】 ● ----- 【評価の理由】 ● -----	B (B)